

ULTRACOUSTIC ACX450/ACX900/ACX1800

取扱説明書



バージョン 1.1 2006 年 6月



本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

www.behringer.com



ULTRACOUSTIC ACX450/ACX900/ACX1800

安全にお使いいただくために



注 意： 感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れず、故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。

警 告： 火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が通じています。手を触れると感電の恐れがあります。



取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



テクニカルデータや製品の外観は予告なしに変更される場合があります。各社名や出版物、ロゴ等はすべて各所有者の登録商標です。これらの使用は、BEHRINGER による登録商標の主張も BEHRINGER と登録商標所有者との提携を意味するものではありません。BEHRINGER 社は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関しても一切の責任を負いません。色およびスペックが製品と微妙に異なる場合があります。製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。製品のディストリビューター（配給元）およびディーラー（販売業者）は、BEHRINGER の特約代理店ではなく、これらは明示・暗示を問わずあらゆる行動および表現によって BEHRINGER を拘束する権限を一切有しません。本取扱説明書に記載された情報内容は、BEHRINGER Spezielle Studiotechnik GmbH からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。BEHRINGER® は登録商標です。

ALL RIGHTS RESERVED.

© 2006 BEHRINGER Spezielle Studiotechnik GmbH.
BEHRINGER Spezielle Studiotechnik GmbH
Hanns-Martin-Schleyer-Str. 36-38
47877 Willich-Muenchheide II, Germany
Tel. +49 2154 9206 0, Fax +49 2154 9206 4903

安全にお使いいただくためのより詳細な注意事項

取扱説明書を通してご覧ください。

取扱説明書を大切に保管してください。

警告に従ってください。

指示に従ってください。

本機を水の近くで使用しないでください。

お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。

本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

二極式プラグおよびアースタイプ（三芯）プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。



雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードまたはプラグが損傷した場合、本機内部に異物や水が入った場合、雨や水分で濡れた場合、本機が正しく作動しない場合、もしくは本機を落下させてしまった場合は、当社指定のサービス技術者に修理をご依頼ください。

注意 - これらの指示は、資格のあるサービス技術者に向けたものです。感電の危険を防ぐため、有資格者以外は、装置の操作方法に記載された内容以外の整備は、行わないようにしてください。

1. はじめに

この度は ULTRACOUSTIC をお買い求めいただき誠にありがとうございます。最新の2チャンネルアンプ ULTRACOUSTIC が、多様な用途に応じたすばらしいサウンドと敏速かつ簡単な操作をお届けします。内蔵式 24 ビットマルチエフェクトプロセッサや FBQ フィードバック検出システムなど、多彩な仕様を装備した ULTRACOUSTIC により、あなたのサウンドにさらに磨きがかかります。外部エフェクト機器からのループやプレイバック演奏を可能とする多彩な接続機能が、ULTRACOUSTIC を完璧なオールラウンダーとしています。

☞ 本機に装備された操作エレメントおよび機能をすべてご理解いただけるよう、ご使用前に本説明書をよくお読みください。この説明書をお読みになった後は、必要に応じて読み返せるよう大切に保管してください。

1.1 ご使用の前に

1.1.1 出荷

ULTRACOUSTIC は、安全な輸送のため工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万一、包装ダンボールに損傷を発見した場合には、機器外部の損傷についても確認を行なってください。

☞ 万一装置が損傷している場合には、保証請求権が無効となる恐れがありますので、製品を当社へ直接返送せず、必ず販売代理店および運送会社へご連絡ください。

☞ 本機の保管や運送の際には、製品への損傷を避けるため、常にオリジナルの梱包材を使用するようにしてください。

☞ 製品および梱包材はお子様の手の届かない所に保管してください。

☞ 梱包材はすべて環境保護に準じた方法で処分してください。

1.1.2 使用開始

機器の過熱を防ぐため充分な換気の確保に留意し、本機をパワーアンプの上や暖房機器の近くへ設置することはお避けください。

☞ 本機の電源アダプターをコンセントに接続する前に、装置が供給電源に合わせて設定されていることを必ず確認してください。

装置によっては、電源プラグに装備されているヒューズホルダー部に 3 つの三角マークがついている場合があります。この場合、このうち 2 つの三角マークが対向表示されており、装置はこれらのマーク横に表示されている運転電圧に設定されていることを意味します。設定変更を行なう場合には、ヒューズホルダーを 180° 回してください。ご注意： 輸出用モデルは電源電圧 120 V 用に設計されています。このため、上記備考の対象にはなりません。

☞ 本機を他の電源電圧に設定する場合には、他のヒューズを使用してください。適切な値に関しては「テクニカルデータ」の章をご参照ください。

☞ 溶断したヒューズは必ず適切な値のヒューズと交換してください。適切な値に関しては「テクニカルデータ」の章をご参照ください。

本機を電源コンセントに接続する場合には、付属の IEC コネクター付きケーブルをご使用ください。このケーブルは必要な安全基準を満たしています。

☞ 必ず全装置にアース処理を行なうようご注意ください。装置および電源線のアースを除去もしくは無効状態にすることは大変危険ですので、絶対に行なわないでください。装置をコンセントに接続する際は、必ず正常な接地線をご使用ください。

2. 操作部と各接続端子

2.1 フロントパネル

[1] INSTRUMENT と表示されたジャックは ULTRACOUSTIC にアコースティックギターを接続するための 6,3 mm 入力端子です。接続には市販の 6,3mm モノラルケーブル（楽器専門店で入手できるもの）を使用します。リハーサルやコンサートの際に不快なハムノイズを発生させないために、ローノイズ型ケーブルを使用してください。

[2] PHASE スイッチは楽器チャンネルの位相を 180° ずらします。この機能はフィードバック問題やダブル・ピックアップ・システムによる位相誤差の解決のために役立ちます。

[3] GAIN コントローラーは楽器チャンネルの音量設定に使用します。

[4] TUNER スイッチ（ACX450 以外）はチャンネル出力をミュートに切替えます。音声は常に背面の TUNER ジャックに出力されています。このジャックには外部接続型の調音装置（BTR2000、TU100 など）を接続することができます。

入力がオーバードライブしている場合には、TUNER スイッチの CLIP LED が点灯します。この場合には GAIN コントローラーを使って、CLIP LED が点灯しなくなるまで入力ゲインを下げてください。楽器チャンネルには十分な余裕が設けられているため、ピーク信号での CLIP LED の断続的な点灯は問題を意味するものではありません。

[5] これは FBQ EQUALIZER です。それぞれのスライド式コントローラーで一定の周波数領域を調整します。スライド式コントローラーが 0 の位置になっている場合、音声信号の加工は行なわれません。周波数をブーストする場合には該当コントローラーを上へ動かす、カットする場合には下へ動かします。最大ブースト・カット量は 12 dB です。

[6] FBQ スイッチにより FBQ 機能を起動します。FBQ 機能が起動されると、コントローラー LED が明るく点灯します。その後、再生時には発光強度でそれぞれの周波数バンドのエネルギー量を表示します。これにより、目で確認しながらサウンド調整やフィードバック除去を行なうことを可能としています。FBQ 機能の機能・解除に関わらず、イコライザーは常時起動しています。

[7] MIC と表示されたジャックはマイク/ラインチャンネルのバランス型 XLR マイク入力端子です。

[8] マイク/ラインチャンネルのバランス型 LINE ジャック（6,3 mm ジャック）はキーボードやドラムコンピュータなどのラインレベル音声信号に向いています。

[9] COMPRESSOR コントローラーにより、圧縮強度を調整します（ACX1800 のみ、4.3 章参照）。

ULTRACOUSTIC ACX450/ACX900/ACX1800

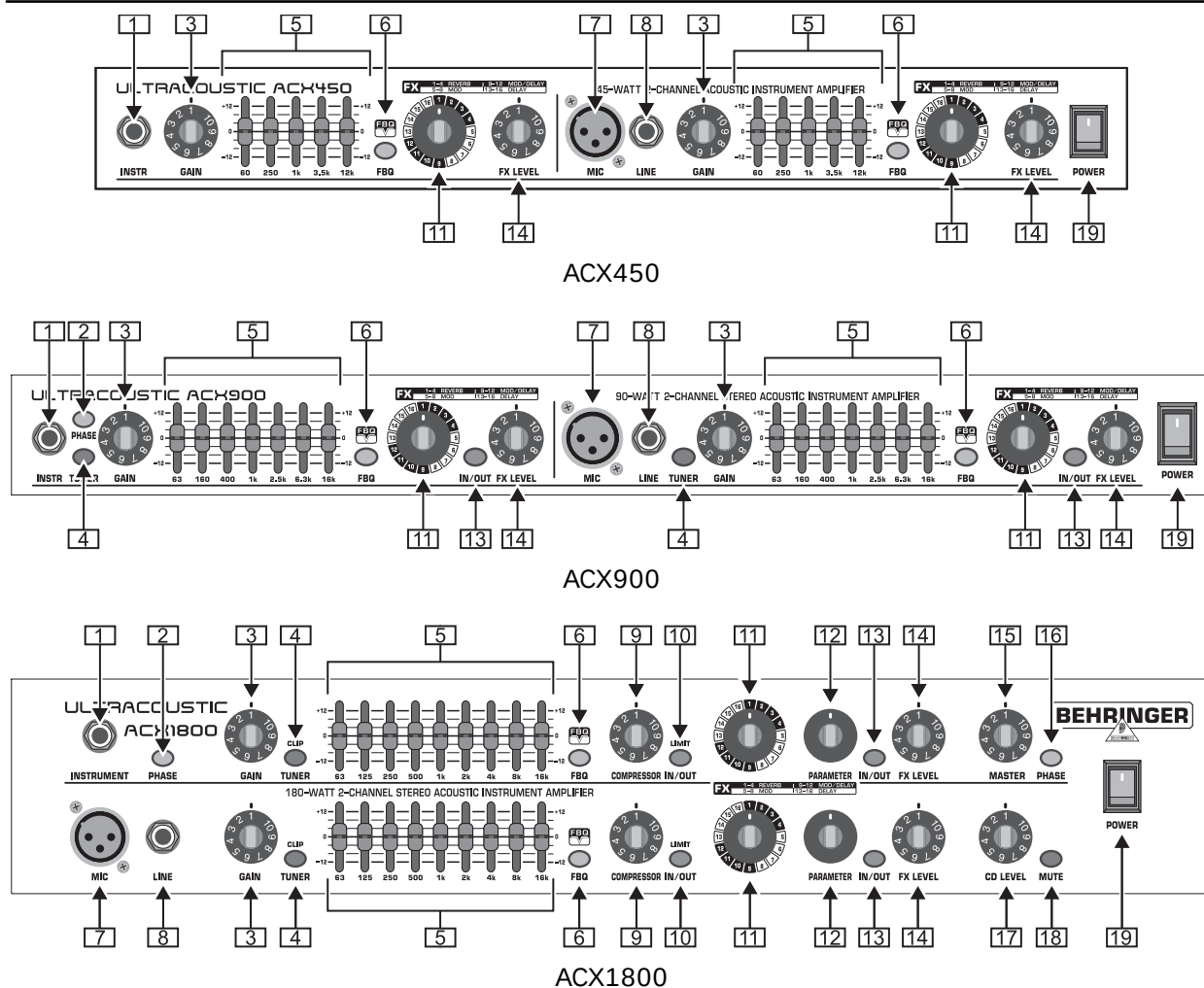


図 2.1: フロントパネルのコントローラー・スイッチ類

- [10] IN/OUT スwitchを押してコンプレッサーを起動させます (ACX1800のみ)。
- [11] 網目模様のついた FX SELECT コントローラーにより、16 種のエフェクトプログラムの中から1つのエフェクトプログラムを選択します。それぞれのエフェクトに関しては 4.2 章の表 4.1 を参照してください。
- [12] PARAMETER コントローラーによりエフェクトパラメータを編集できます (ACX1800のみ)。エフェクトごとにどのパラメータを変更できるかに関しては、表4.1を参照してください。
- [13] IN/OUT スwitchを押して選択したエフェクトを起動します (ACX450のみ)。エフェクトが起動されると、スイッチ上のLEDが点灯します。エフェクトの起動・解除には、付属のフットスイッチを使用することも可能です。
- [14] FX LEVEL コントローラーにより、選択中のエフェクトの割合を調整します。
- [15] MASTER コントローラーでACX1800 の全体の音量を決定します。
- [16] PHASE スwitchは合算された信号の位相を180°ずらします (ACX1800のみ)。フィードバックの問題が生じた場合に、このスwitchを起動させてください。
- [17] ULTRACOUSTIC の背面には、CD入力端子が装備されています。マスターセクションの CD LEVEL コントローラーによりCD入力端子に接続されている音声

信号の音量を調整できます (ACX1800のみ)。ACX900 および ACX450 では、このコントローラーは背面に設置されています (図 2.2 参照)。

- [18] MUTE スwitchにより、ACX1800 の CD 入力音声をミュートに切替えます。
- [19] POWER スwitchを押してULTRACOUSTICに電源を投入します。本機を電源コンセントに接続する際には、必ず POWER スwitchを「オフ」にしておいてください。本機を電源網から遮断するためには、電源プラグを抜いてください。電源プラグへ簡単に手が届くことを確認してから、本機を使用してください。

ご注意: POWER スwitchを切っても電源網への接続は完全には遮断されません。長期間にわたって本機をご使用にならない場合には、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。

ULTRACOUSTIC ACX450/ACX900/ACX1800

2.2 装置背面

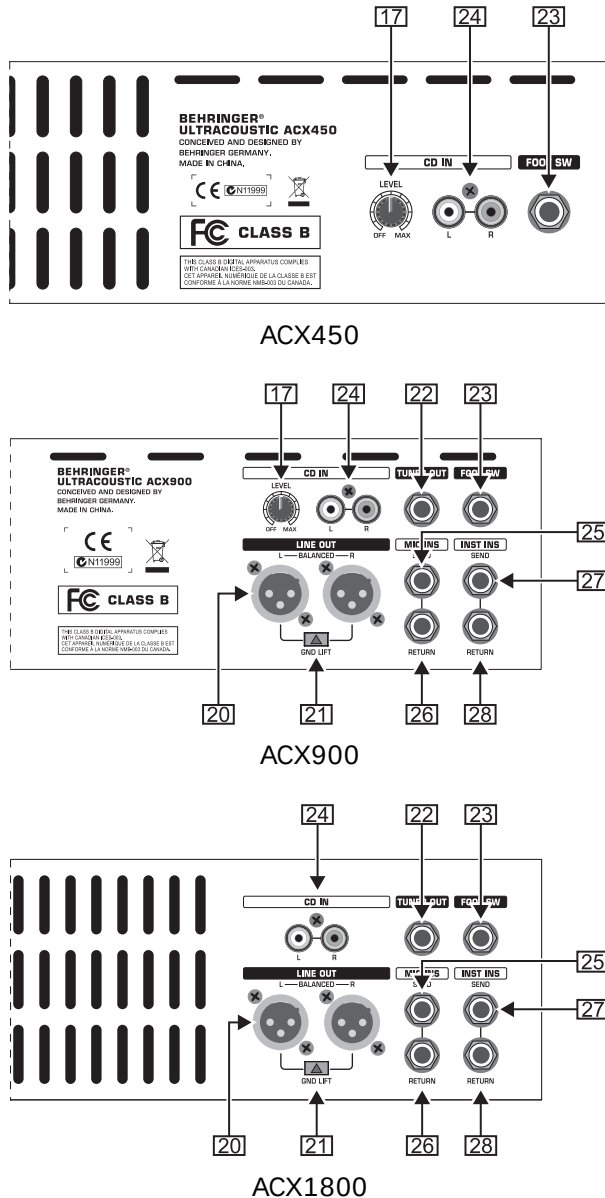


図 2.2: 装置背面のコネクター

- [20] バランス型の **LINE** 出力端子 (XLR コネクター) により、ULTRACOUSTIC をミキサーの入力端子と接続することができます (ACX1800 および ACX900 のみ)。
- [21] **GND LIFT** スイッチ (グランドリフト) により、アンプとミキサー間のグランドを分離することができます (スイッチを押した状態)。これにより、ハムノイズやグラウンドループの発生を抑えます。
- [22] 楽器チャンネル内の音声信号を **TUNER** 出力端子で取り出し、調音装置に送ることができます。音声信号は常にこのジャックへ送られています。
- [23] 付属のダブルフットスイッチを **FOOT SW** (ITCH) ジャックに接続します。フットスイッチを使用し、両チャンネルのエフェクトを起動・解除することができます (**IN/OUT** スイッチ [13] の機能と同様)。
- [24] **CD IN** 入力端子 (RCA) に外部からのステレオ音源を接続することができます。この端子の使用により、お気に入りの CD や MD またはドラムコンピューターに合わせて演奏することが可能となります。

[25] + [26] **MIC INSERT**: マイクチャンネルのシリアルループを使用し、外部接続型のエフェクト機器をループすることが可能です。この際、**SEND** ジャック [25] とご使用中のエフェクト機器の入力部を接続してください。外部エフェクト機器の出力部は ULTRACOUSTIC の **RETURN** ジャック [26] に接続してください。

[27] + [28] **INST(RUMENT) INSERT**. マイクチャンネルには、外部エフェクト機器用シリアルループがさらにもう1つ装備されています。[27] は **SEND** ジャック (出力)、[28] は **RETURN** ジャック (入力) です。

🔊 チャンネル内の音声信号を独立して録音する際には、**INSERT SEND** ジャックをパラレル出力として使用することもできます。これは **RETURN** ジャックを使用しない限り、内部での音声信号の流れは中断されません。

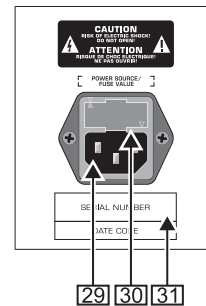


図 2.3: IEC 入力コネクター、ヒューズホルダー、シリアルナンバー (背面)

- [29] 電源は IEC コンセントに接続します。これに適切な電源線は付属されています。
- [30] ヒューズホルダー/電圧切替 本機の電源アダプターをコンセントに接続する前に、電圧表示がご使用になる地域での供給電源に一致しているかを必ず確認してください。ヒューズを取り替える際には、必ず同一のタイプのものを使用してください。装置によっては、230 V と 120 V を切替えられるようにヒューズホルダーが2箇所に取り付けられるようになっているものがあります。ご注意: 本機をヨーロッパ以外の地域で 120 V の電圧で使用する場合、ヒューズは安全値の高いタイプのものを使用してください。
- [31] シリアルナンバー。

3. 結線例

3.1 ACX450 の結線例

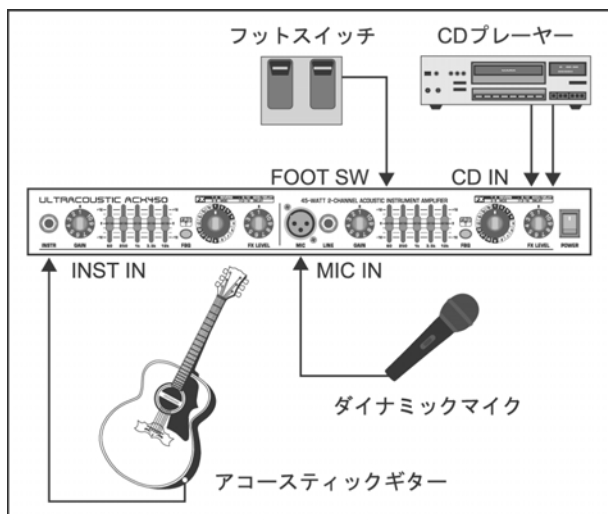


図 3.1: ACX450 の結線例

この結線方法はリハーサルルームでのセッションやご自宅での練習などの用途に適しています。お手持ちのギターをチャンネル1の楽器入力端子に接続してください。チャンネル2には、さらにその他の楽器やダイナミックマイクを接続することができます。

付属のフットスイッチ FS112 を装置背面のフットスイッチ入力端子に接続してください。フットスイッチを使用し、両チャンネルのエフェクト機器を起動・解除することができます。これはライブ演奏時に特に便利です。

プレイバックに合わせて演奏する場合には、CD プレイヤーをCD入力端子に接続します。ここには、MD プレイヤーやコンピューターを接続することも可能です。

3.2 その他の結線例 (ACX900 および ACX1800)

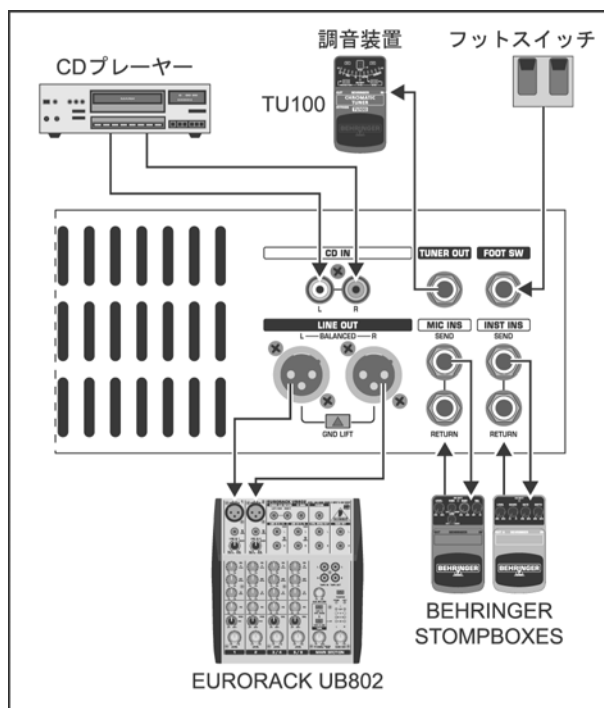


図 3.2: その他の結線例 (ACX900 および ACX1800)

ACX900 および ACX1800では多彩な接続方法を可能としています。この図はあくまでも一例です。

楽器、マイク、フットスイッチ、CD プレイヤーの結線は図3.1と同様の方法で行ないます。調音装置はチューナー出力端子に接続します。ここには、楽器音声信号が常に送られています。外部接続型のエフェクト機器は、それぞれのチャンネルに独立して接続することができます。どちらかのチャンネルのINSERT SENDをエフェクト機器の入力部と接続し、エフェクト出力を同じチャンネルのINSERT RETURNと接続します。記載中のボードエフェクトではシリアル構成によるシングルループとして使用されていますが、これは19"スタジオエフェクト機器を使用してパラレル・エフェクトループとして使用することも可能です。この場合、MIC INSERT SEND または INSTRUMENT INSERT SEND 出力端子のどちらかをエフェクト機器の入力部と接続し、CD INPUT 入力を介してエフェクト機器のステレオ出力信号を送り返す必要があります。これにより、CD LEVEL コントローラーでギター音声信号をエフェクト信号に混ぜることが可能となります。この方法で使用する場合には、エフェクト機器がエフェクト信号のみ（100%）を送り出す必要があります。この際、オリジナル信号はエフェクト機器から送られないようにする必要があります。

PA サウンド機器を使用してライブで楽器演奏する場合、通常 DI ボックスが必要となります。DI ボックスは、長いケーブル用に音声信号を処理し、ミキサー用に高めの出力レベルを送ります。ULTRACOUSTIC には DI ボックスが直接内蔵されています。バランス型 LINE 出力端子をミキサー入力端子やミキサーへ送られるマルチコアと直接接続してください。この際、マイクケーブル（2心、XLR プラグ付きシールドケーブル）を使用してください。

4. サウンドの加工

ULTRACOUSTIC では、FBQ イコライザーやマルチエフェクト機器、ACX1800 のコンプレッサーなど、4 種類の方法でサウンド加工が行えます。これらの多様な加工方法は、この章で紹介しています。

4.1 FBQ イコライザー

FBQ スペクトル解析機能を装備したグラフィックイコライザーを使用し、サウンド調整または修正を行なうことができます。スライドコントローラーが 0 の位置になっている場合、音声信号の加工は行なわれません。

- ▲ 周波数をブーストする場合には該当コントローラーを上へ動かします。
- ▲ カットする場合にはコントローラーを下へ動かします。
- ▲ FBQ スイッチ [6] を押して、FBQ 表示をオンにします。

FBQ 機能：それぞれのコントローラーには LED が装備されています。これらの LED の発光強度により、それぞれのコントローラーの周波数レベルが確認できます。これによりそれぞれのサウンド加工に適したコントローラーの敏速な確認を可能としています。例えばサウンドが単調すぎたり過度に響きすぎたりすると、該等するコントローラーの LED の発光強度が強くなります。このコントローラーをやや下げると、この強力な響き（ベースの効きすぎたサウンド）を解消できます。または、音声信号の割合を変えて（コントローラーを上へ移動）目立たないサウンドを強調します。

🔊 周波数を強調したい場合には、ブーストするだけが唯一の方法とは限りません。他の周波数をややカットすることも可能です（コントローラーを下へ移動）。これにより、内部音声信号のレベルが高くなりすぎることを防ぎ、優れたダイナミックリザーブ（ヘッドルーム）を維持することが可能となります。

4.2 デジタルエフェクトプロセッサー

ULTRACOUSTIC の大きな特長としては、個々に完全に独立したチャンネルを使用するマルチエフェクトプロセッサーが内蔵されていることがあげられます。それぞれのエフェクトモジュールには、4 つのカテゴリーに分けられる 16 の多彩なプログラムが搭載されています。

- ▲ 装置上の IN/OUT スイッチ [13] かフットスイッチを押すことで、簡単にエフェクトを起動・解除できます。
- ▲ FX SELECT コントローラー [11] を回して、プログラムを選択します。以下の一覧表でエフェクトプログラムを参照してください。

FX	FX プログラム	機能	パラメータ (ACX1800)
REVERB	1	Chamber	Decay
	2	Room	Decay
	3	Hall	Decay
	4	Concert	Decay
MOD	5	Chorus	Depth
	6	Flanger	Depth
	7	Phaser	Speed
	8	Tremolo	Speed
MOD/DLY	9	Chorus / Delay 400 ミリ秒	Delay Level
	10	Flanger / Delay 400 ミリ秒	Delay Level
	11	Chorus / Delay 300 ミリ秒	Delay Level
	12	Flanger / Delay 300 ミリ秒	Delay Level
DELAY	13	Delay 80 ミリ秒	Feedback
	14	Delay 300 ミリ秒	Feedback
	15	Delay 400 ミリ秒	Feedback
	16	Delay 500 ミリ秒	Feedback

表 4.1: エフェクトプログラム

- ▲ FX LEVEL コントローラーにより、エフェクトが聞こえるようになります。
- ▲ PARAMETER コントローラー [12] により、エフェクトに変化をつけてください（ACX1800 のみ）。

1-4 REVERB

リバーブプリセットは、様々な大きさの空間に応じたりバーブ効果を再生するホールエフェクトです。PARAMETER コントローラーによりリバーブタイム（Decay）を設定します。

- 1 **CHAMBER**により、スタジオ空間における典型的な特性を再現します。このエフェクトは、残響効果を抑えて音声信号を生き生きとさせたい場合に適しています。
- 2 **ROOM**: 明らかに反響音が聞こえる中規模な空間。
- 3 **HALL**: 生き生きとした、残響効果の強いホールを再現します。
- 4 **CONCERT** により、大規模なコンサートホールの強度なりバーブを再現します。

5-8 MOD

以下では、多種の方法により作り出される多彩なモジュレーション効果を紹介しています。ここでは、Depth（モジュレーションの深さ）または Speed（モジュレーション速度）の調整が可能です。

- 5 **CHORUS**により、ギター音声信号にさらにふくらみと広がりを与えます。ここでは、入力音声信号に遅延が掛けられます。
- 6 **FLANGER**: 音程のコンスタントなモジュレーションが達成できることで人気のあるギターエフェクトです。
- 7 **PHASER**: フェーザーはフランジャーほど目立ちません。このエフェクトは入力音声信号に位相をずらしたエフェクト信号を重ねることで作り出されます。
- 8 **TREMOLO**: 音量の変化を敏速かつ強度に行なうものともいえます。

9-12 MOD/DELAY

コーラスやフランジャーをディレイと組み合わせるデュアルエフェクトも数種あります。ACX1800 ではディレイエフェクトの音量を設定することも可能です。

- 9 **CHORUS/DELAY** ディレイ時間 400 ミリ秒
- 10 **FLANGER/DELAY** 長めのディレイ時間（400 ミリ秒）
- 11 **CHORUS/DELAY** 短めのディレイ時間（300 ミリ秒）
- 12 **FLANGER/DELAY** ディレイ時間 300 ミリ秒。

13-16 DELAY

多彩な長さのディレイ時間をもつ遅延効果があります。パラメータフィードバックにより繰り返し回数を調整します。

- 13 短めの**DELAY** ディレイ時間 80 ミリ秒
- 14 中度の**DELAY** ディレイ時間 300 ミリ秒
- 15 **DELAY** ディレイ時間 400 ミリ秒
- 16 長めの**DELAY**: ディレイ時間 500 ミリ秒

4.3 コンプレッサー（ACX1800 のみ）

コンプレッサーは音声信号のダイナミックレンジを低減します。音量ピークはカットされ、小音量の音声信号はブーストされます。これにより楽器音声やボーカル音声の最大音量と最小音量の差を縮小します。このようにして力強く均等なサウンドを得ることが可能となります。ここでは長く伸びる音における（終わりの音の）サステインを延長します。

- ▲ コンプレッサーをオンにしてください（ONスイッチ [10]）。
- ▲ COMPRESSOR コントローラー [9] をゆっくりと右へ回し、圧縮強度を強めます。
- ▲ （ONスイッチで）オンとオフに交互に切替えることにより、圧縮された音声信号を加工されていない信号と比較できます。

高めの入力音声信号が送られると、コンプレッサーがうまく作動します。音声信号が低すぎると、コンプレッサーコントローラーを高めに設定した場合にのみエフェクト効果が得られるようになります。これは、コンプレッサーの起動時に高いレベルジャンプが生じることがあります。GAIN の設定が高すぎると、圧縮効果が早いうちから生じます。この場合、適切な圧縮効果を得るために COMPRESSOR コントローラーをあまり開きすぎないようにしてください。実際に試してみることで適切な設定状況を得てください。

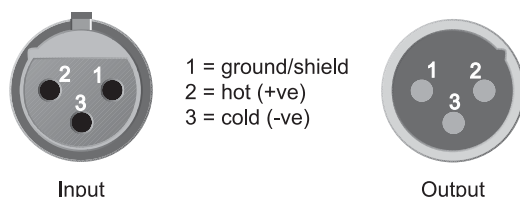
5. 設置方法

5.1 オーディオ接続

BEHRINGER ULTRACOUSTIC のオーディオ入出力端子は、LINE 入力モノラルジャックを除いて、すべてアンバランス型モノラルジャックとなっており、LINE OUT コネクターはバランス型 XLR 出力端子となっています。CD 入力端子はRCAコネクターとなっています。

本機の設置および操作は必ず専門家が行なってください。設置および操作の際には、作業者の接地を十分に確保してください。これを怠ると、放電などにより運転性能が悪化することがあります。

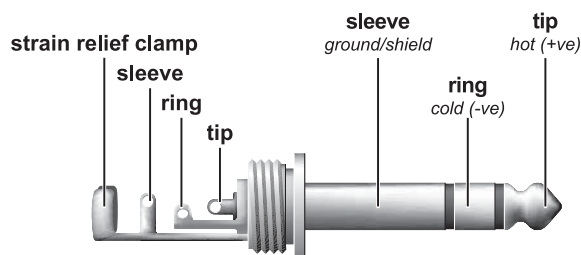
XLR コネクターによるバランス型接続



アンバランス使用の際には Pin 1 と Pin 3 を接続してください。

図 5.1: XLR コネクター

ステレオフォンジャックによるバランス型接続



バランス型端子をアンバランス型として使用するにはリングとスリーブを接続してください。

図 5.2: 6,3 mm モノラルジャック

6.3 mm モノラル・フォンプラグを使用したアンバランス接続

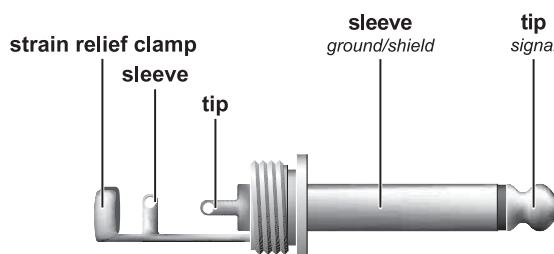


図 5.3: 6,3 mm モノラルジャック

ULTRACOUSTIC ACX450/ACX900/ACX1800

6. テクニカル データ

	ACX450	ACX900	ACX1800
オーディオ入力			
楽器入力	6,3mmモノラルフォンジャック		
入力インピーダンス	10 MOhm		
マイク入力	XLR バランス型		
入力インピーダンス	4 kOhm		
ライン入力	6,3mmモノラルフォンジャック		
入力インピーダンス	40 kOhm		
楽器インサート・リターン	-	6,3mmモノラルフォンジャック	
入力インピーダンス	-	220 kOhm	
マイク・インサート・リターン	-	6,3mmモノラルフォンジャック	
入力インピーダンス	-	220 kOhm	
CD入力	RCA		
入力インピーダンス	>10 kOhm		
オーディオ出力			
ライン出力	-	XLR平衡式	
出力インピーダンス	-	4,3 kOhm	
最高出力レベル	-	>24 dBu	
楽器インサート・センド	-	6,3mmモノラルフォンジャック	
出力インピーダンス	-	100 Ohm	
最高出力レベル	-	>18 dBu	
マイク・インサート・センド	-	6,3mmモノラルフォンジャック	
出力インピーダンス	-	100 Ohm	
最高出力レベル	-	>18 dBu	
チューナー出力	-	6,3mmモノラルフォンジャック	
出力インピーダンス	-	33 kOhm	
最高出力レベル	-	>6 dBu	
システムデータ			
パワーアンプ出力	1 x 45 W / 4 Ω	2 x 45 W / 2 x 4 Ω	2 x 90 / 2 x 4 Ω
デジタル処理			
コンバーター	24ビット・シグマ・デルタ、64/128倍オーバーサンプリング		
サンプリングレート	40 kHz		
スピーカー			
タイプ	1 x 8"	2 x 8"	2 x 8"
モデル	BUGERA™ ヴィンテージギターシリーズ		
インピーダンス	4 Ohm	4 Ohm	4 Ohm
定格出力	40 W	60 W	60 W
電源供給			
供給電圧	米国/カナダ 120 V~、60 Hz		
	ヨーロッパ/英国/オーストラリア 230 V~、50 Hz		
	日本 100 V~、50 - 60 Hz		
	中国/韓国 220 V~、50 Hz		
	一般輸出モデル 120 / 230 V~、50 - 60 Hz		
消費電力	最高 90 W	最高 135 W	最高 265 W
ヒューズ 100 - 120 V~	T 2,5 A H 250 V	T 3,15 A H 250 V	T 6,3 A H 250 V
ヒューズ 200 - 240 V~	T 1,25 A H 250 V	T 1,25 A H 250 V	T 3,15 A H 250 V
電源コネクター	標準IECコネクター		
外形寸法/重量			
寸法（高さX幅X奥行）	413 x 455 x 212 mm	423 x 526 x 232 mm	427 x 526 x 242 mm
重量	13.2 kg	16.8 kg	18.4 kg

BEHRINGER社は最高の品質水準を保つ努力を常に行っています。必要と思われる改良等は予告なしで行われますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違する可能性があります。